



産経新聞社会部大阪総局
〒556-8661
大阪市浪速区湊町2の1の57
osaka-iken@sankei.co.jp
TEL06(6633)9734
FAX06(6633)9738

近大、2病院の名称変更へ

近畿大学は、来年4月1日から近畿大学医学部付属病院(大阪狭山市、東田有智病院長)を「近畿大学病院」に、近畿大学医学部奈良病院(奈良県生駒市、城谷学病院長)を「近畿大学奈良病院」にそれぞれ名称変更すると発表した。

同大によると、運営する病院について医学部と病院の境界を明らかにし「病院長が権限を持つ」ことを明らかにするための取り組みという。医

ポイントゲット「ちよボラ」の魅力

「50年来の愛読者です」。こう

書かれた名刺とともに、催し物のチラシが関西支局に届けられていた。「無視はできないな…」と思い、告知記事を掲載すると、数日後、「お礼を言いに来た」と訪ねてきた泉佐野市の角谷俊彦さん(71)は、自身も参加する有償ボランティア活動「おもスタ(おもてなしボランティアスタッフ)」のPRを始めた。「味をしめた」

と、ほほ笑みながら。

泉佐野はいわずと知れた関西国際空港のおひざ元。LCC(格安航空会社)の相次ぐ乗り入れで活況下にあるインバウンド(訪日外国人旅行)客の「知りたい」「買いたい」といったリクエストに、情報提供で応じるのが「おもスタ」だ。主に英語、中国語、韓国語の3カ国語で対応している。

「現在登録メンバーは40〜70代の約30人。外国人との会話やおもてなしを心から楽しんでる人、

私みたいな名前だけの人、いろいろです」と笑う角谷さん。有償ボランティアで1時間当たり地域ポイント「さのぼ」が300ポイントもらえるほか、自宅からの交通費も出

る。「募集は随時、一度活動見学に来てほしい」と呼びかける。

十数年前、AC(公共広告機構)が提唱した「ちよボラ」(ちよっとしたボランティア)がはやり、ボランティア団体に加入したり、被災地に行ったりという大がかりなものでなく、日常の中でできる、ちよっとしたボランティアを勧めるものだった。おもスタの活動も、そんなものだろう。「高齢者」と言つと怒られるかもしれないが、豊饒とした角谷さんの話す姿を見ていて、ちよボラの魅力を垣間見た気がした。

(谷)

ええ話

ちよボラ

問い合わせは、泉佐野シティアロモーション推進協議会おもスタ担当(072・477・4428)。